

報道関係各位

2024年5月21日
株式会社クロス・マーケティング

給与所得と預貯金は1年前と比べ上昇したが、消費行動は低下 今後1年間の景況感も低調のまま

－消費動向に関する定点調査（2024年5月）－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国47都道府県に在住する20～69歳の男女1,200人を対象に「消費動向に関する定点調査（2024年5月）」を実施しました。

■調査目的

消費動向定点調査は、現在の消費者の暮らしの状況を、所得・消費・行動の観点で過去と比較し、景気動向判断の基礎資料を得ることを目的とし、年2回（5月・10月）実施しております。

本調査においては、続く物価上昇、急速な円安、訪日外国人数が2か月連続で300万人を超えた2024年5月1日～2日に、生活実態や消費動向の推移、景況感・消費予測、キャッシュレス決済・セルフレジ利用などについて調査をしました。

■調査結果（一部抜粋）

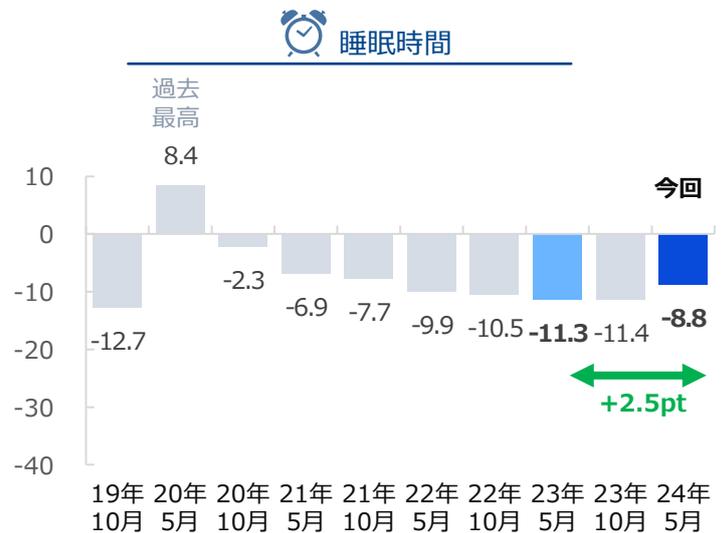
- ✓ **【生活実態・消費動向の推移】** 2024年の春闘は大手企業を中心に高い水準の賃上げ回答が相次いだこともあり、生活実態DI値「給与所得」は前年同期より8ptの上昇。「預貯金」も6ptの上昇。「おこづかい」は前年同期よりやや上昇。＜図1、2＞
- ✓ 消費動向については、電気・ガス価格激変緩和対策事業の補助金制度もあり「電気料金の支払金額」は前年同期21ptと大幅に低下。「クラウドファンディングの支援回数」「ふるさと納税の回数」は過去最低値。「タクシー」「映画館」「レンタルDVD」「レンタルCD」の利用頻度や「低カロリー・ダイエット食品の購入頻度」は前年同期より7～11ptの低下。本調査で聴取しているその他の項目においても、前年同期に比べマイナス傾向がほとんどであり、上昇したものは見受けられなかった。＜図3、4＞
- ✓ **【今後の景気の見通しと消費予測】** 今後1年間の景気の見通しについて「悪くなると思う」と回答した人は52%と半数を占め、「良くなると思う」は7%程度と景況感は2023年10月同様に悪い。＜図5＞ 今後1年間の自分自身の消費予測は、「変わらない」が54%、「増えると思う」は26%と増加に転じた。＜図6＞
- ✓ **【キャッシュレス決済・セルフレジ利用状況】** 「キャッシュレス決済支払いがほとんど」は45%と、2022年より微増。30代は54%と半数を超える。「セルフレジ支払いがほとんど」は17%、20代と30代は2割以上と多い。40代以降は年代が上がるほど有人レジでの支払いが増える。＜図7＞ セルフレジの利用は「スーパーマーケット」79%が最も高く、次いで「100円ショップ」47%、「コンビニエンスストア」41%であり、特に20代は「コンビニエンスストア」でのセルフレジ利用が62%と高い。＜図8＞

◆詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/exp/20240521exp/>

＜図1＞ 生活実態DI値の推移①（経年比較）

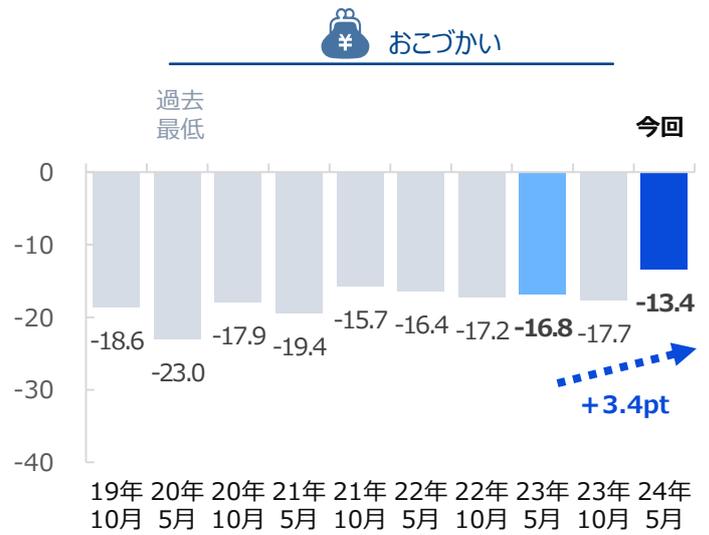
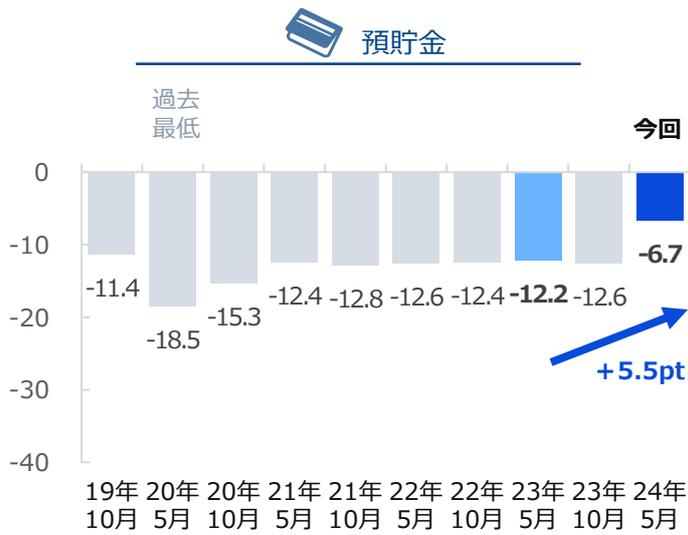
*直近10回分のDI値のみ抜粋して掲載

* DI値：「増えた」の回答比率-「減った」の回答比率

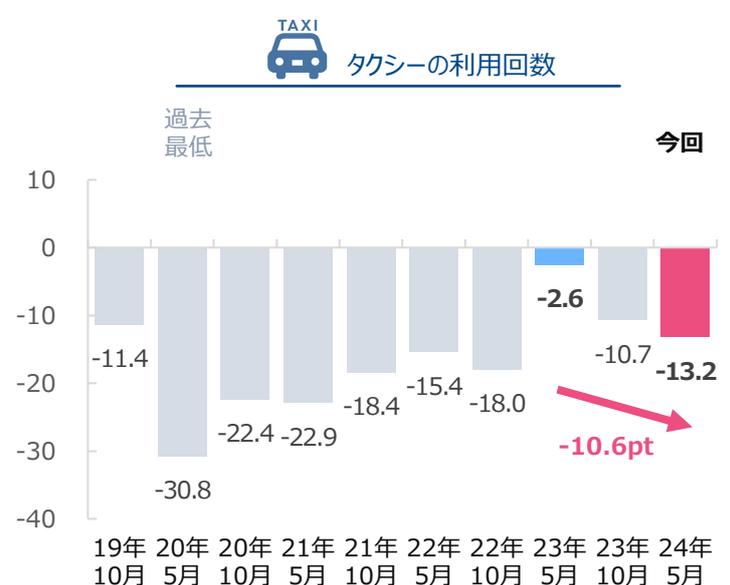
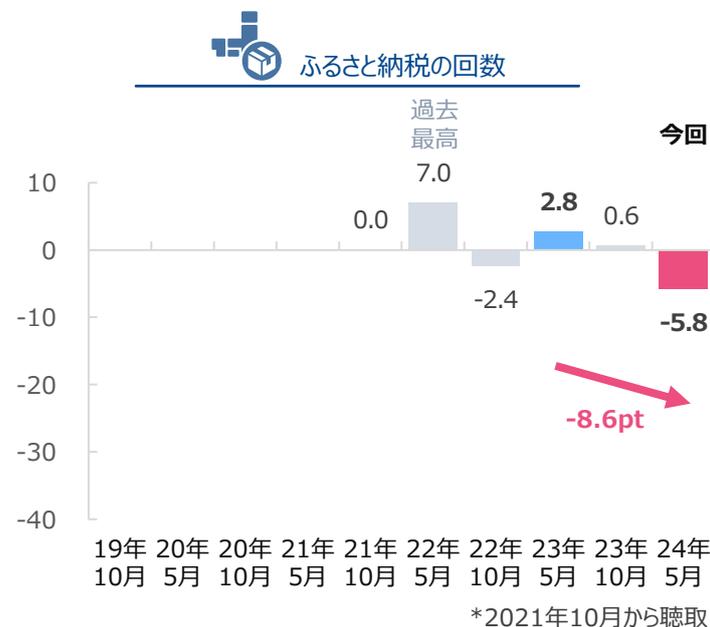
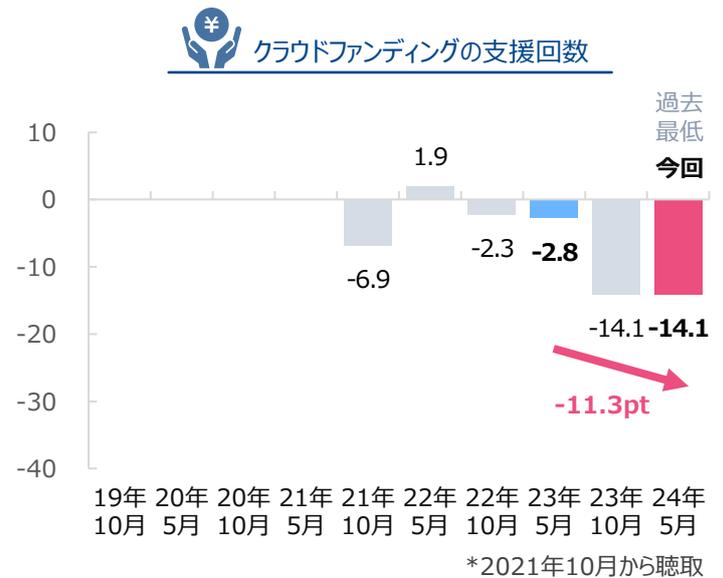
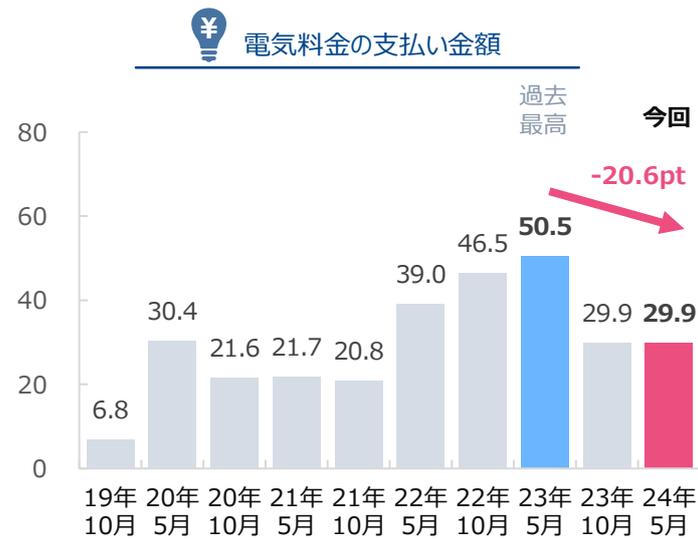


<図2> 生活実態DI値の推移②（経年比較）

*直近10回分のDI値のみ抜粋して掲載
*DI値：「増えた」の回答比率-「減った」の回答比率



<図3> 消費動向DI値の推移①（経年比較）



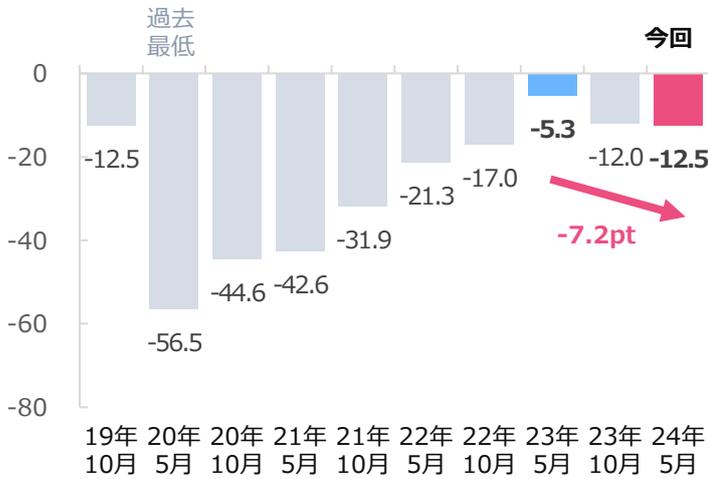
<図4> 消費動向DI値の推移②（経年比較）

*直近10回分のDI値のみ抜粋して掲載

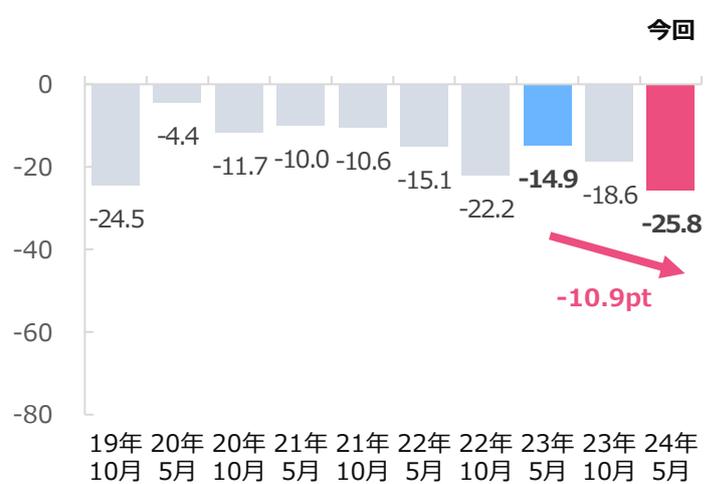
*DI値：「増えた」の回答比率-「減った」の回答比率



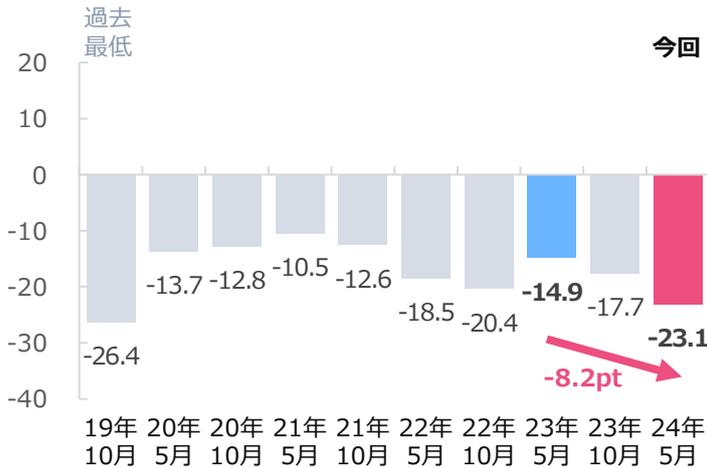
映画館



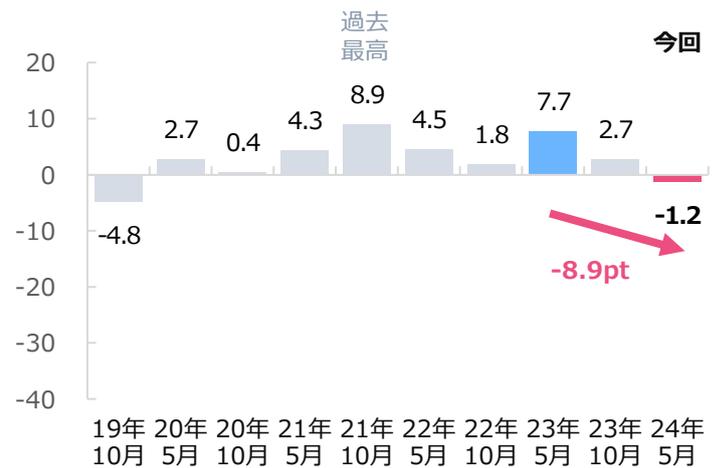
レンタルDVDの利用頻度



レンタルCDの利用頻度

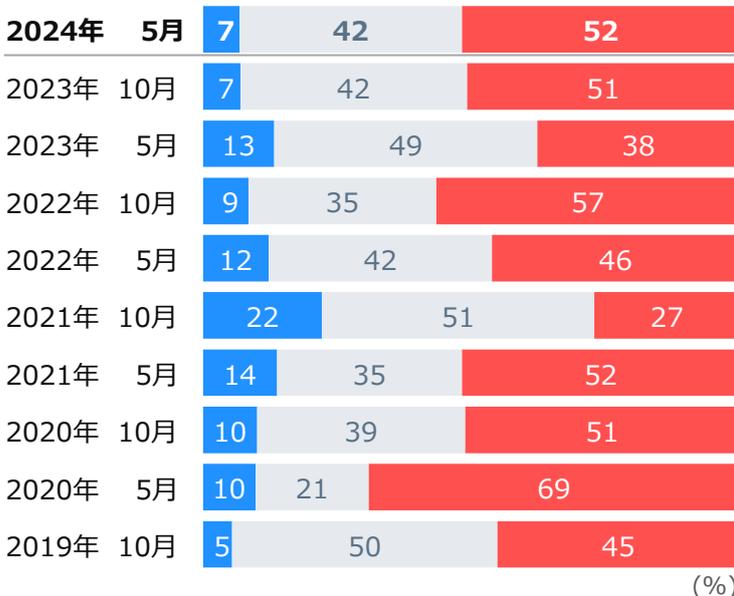


低カロリー・ダイエット食品の購入頻度



<図5> 今後1年間の景気の見通し（単一回答：n=1,200）

■ 良くなると思う ■ 変わらないと思う ■ 悪くなると思う



<図6> 今後1年間の自分自身の消費予測（単一回答：n=1,200）

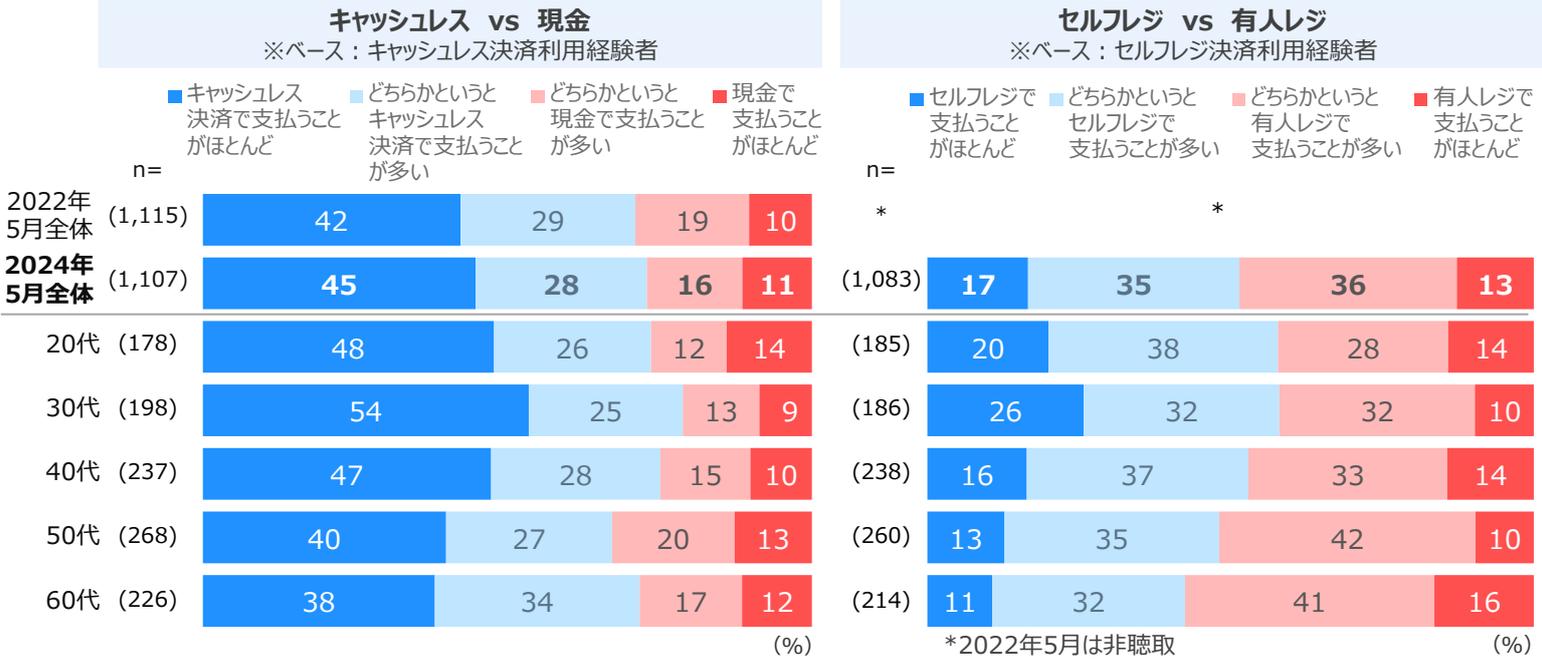
■ 増えると思う ■ 変わらないと思う ■ 減ると思う



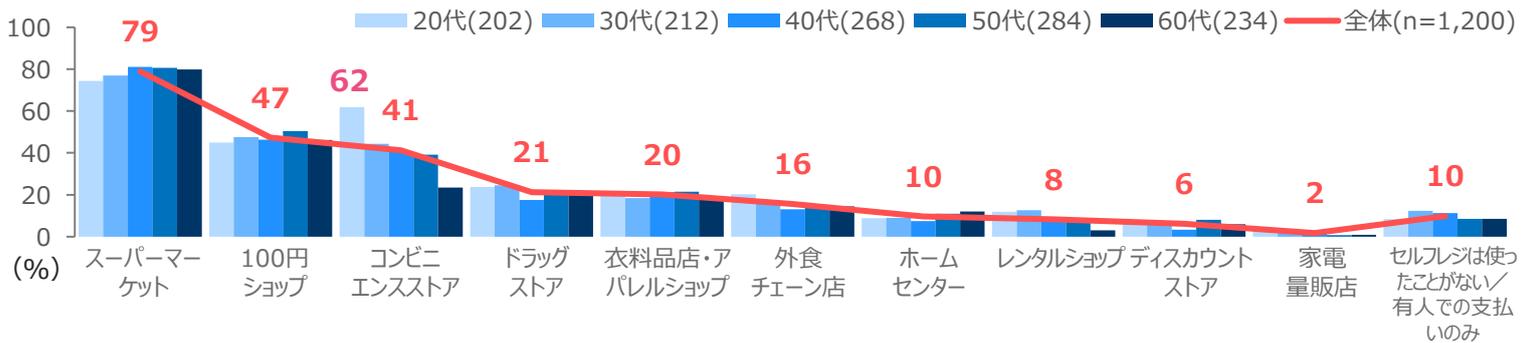
*2023年5月から聴取

(%)

<図7> 普段の支払い方法 (単一回答)



<図8> セルフレジの利用経験 (複数回答：n=1,200)



■レポート項目一覧

- 調査概要
- 生活実態の前年同期との比較
- 生活実態の推移
- 消費動向の前年同期との比較
- 消費動向の推移
- 今後の景気の見通し
- サブスクリプションサービス利用状況
- オンラインショッピング直近3か月の利用況
- オンラインショッピング定期購入状況
- キャッシュレス決済利用状況/今後の意向
- セルフレジ利用状況/今後の意向

◆レポートダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/exp/20240521exp/>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～69歳の男女
 調査期間 : 2024年5月1日(水)～2日(木)
 有効回答数 : 本調査1,200サンプル (人口構成比に基づいて割付)
 ※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」